

吉田 稔 筆

令和5年1月 No.143

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

あけまして
おめでとう
ございます

会長 青柳 直樹

駐車場のゲームコーナーで、参加するために長い行列でワクワクしながら待つちびっ子たち。輪投げ競技のお手伝いをしてくれた親子の嬉々とした笑顔。「今日は楽しかったね」とあちこちで聞こえてくる喜びの声。また前日から機敏に準備をする役員の手際の良さはブランクを感じさせないものでした。昨年10月29日(土)、30日(日)に同時開催した「地域ふれあいのつどい」「文化祭」「防災パネル展」の様子です。

この光景を見ながら、これらこそが地域の皆様が待ち望んでいた「イベント」と深く感銘しました。3年ぶりの開催に賛否両論がある中で、実施のためにコロナ対策を行うと同時に、成功に向けての一致協力が成功の賜物と思います。

特に趣向を凝らしたのは、柏南高校書道部による書道パフォーマンスです。圧巻の筆さばきには、来場者一同が感動。同校の他の部の生徒が感激のあまり涙をぬぐう場面も見られました。

体育室では、恒例の地域内の小中高生の作品と地域の



柏南高校書道部の書道パフォーマンスの作品

方が日頃の腕を奮う力作の展示がありました。初めて実施した防犯防災部の「防災パネル展」では、シールを貼って自分の避難所の確認をし、紙芝居を通して防災知識を学び、展示された防災用品を見て「わが家も準備しなければ」と意識を高める参加者が見られました。

本年もコロナウイルスの感染は予断を許せません。こうした中ではありますが、「人と人とのふれあいの場」の事業については、元気を届けるためにわが地域の特性を生かしながら実施してまいります。

本年も皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

ふるさと協議会からのお知らせ

令和5年1月24日(火) 園芸講座

令和5年2月 介護予防講座

令和5年2月 地区懇談会

令和5年3月5日(日) 芸能発表大会

※詳細は、回覧、チラシなどでお知らせします。「新春囲碁将棋大会」は、コロナウイルス感染の現況から中止します。

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。

待望の開催!! 文化祭 ■ 地域ふれあいのつどい

文化祭
体育室展示会場は力作ぞろい (文)



2022年10月29日(土)に「地域ふれあいのつどい」、10月29日(土)・30日(日)に「文化祭」「防災パネル展」が増尾近隣センターにおいて開催されました。待望の開催に多数の方が訪れました。



今年は焼きそば、焼き鳥、ポツブコーン、コーヒ、すべてテイクアウト(地域ふれあいのつどい)



柏南高校合唱部のアカベラに耳を傾けて(文化祭)

進化する自然災害 防災パネル展

防犯防災部主催「防災パネル展」を、増尾近隣センター体育室において2022年10月29日(土)、30日(日)に「地域ふれあいのつどい」「文化祭」と同時開催をしました。2日間で317名の来場者がありました。

増尾地域の避難所と利用する町・自治会の色分けマップ、地震の揺れやすさマップ、液状化マップ、浸水ハザードマップ、内水ハザードマップなどを展示しました。

また、柏市が推奨する災害時に役立つ「備蓄品及び非常時の持ち出し品ベスト40」も併せて展示しました。防災クイズの紙芝居には、お年寄りや子どもたちが多く参加していて、防災への関心を持ってもらったのではないのでしょうか。

色分けマップは、自分の居住場所に小さな丸シールを、避難場所に大きな丸シールを貼り、改めて自分が避難する場所を確認していただきました。参加者には、非常食

のお粥、パン、ビスケットなどを差し上げました。

年々、大雨災害では観測史上最大で過去には発生しなかった事象が起こるなど進化しているように感じます。私たちは、柏市が公開しているハザードマップなどで最新の情報を確認し、災害に備えることが大切です。そして、このことが命を守る行動につながります。

来年度も「防災パネル展」を開催する予定です。ぜひ、来場して防災に対する意識を高めていただきたいと思います。

防犯防災部 志水 房夫



シールを貼って避難場所を確認

い ■ 防災パネル展

ゲームコーナーでは、子どもたちが嬉々として挑戦（地域ふれあいのこと）



健康づくり推進員による健康チェックコーナーでは、体内年齢が分かると小さくガッツポーズする人も



童心に返るひととき 文化体育部「健康教室」

コロナ禍で3年ぶりに開催した「健康教室」は、2022年9月25日（日）増尾近隣センター体育室において、午前10時から正午まで行われました。

誰もが無理なく楽しめるニュースポーツのラダーゲッター、バグゴ、カロリングの指導は柏市スポーツ推進委員南部支部の6名の皆さんです。参加者は一般応募10名、文化体育部15名。6名ずつの4チームに分けての対抗です。バグゴは板状の後方にある円形のホールに布製の小さな袋を投げ入れるゲーム。ラダーゲッターはヒモでつながっているゴルフボール大の2個のボールを、片手で軽く持って梯子をめがけて投げる競技です。カロリングはカーリングに似ていてジェットローラーと称する球を滑らせるものでコントロールが肝心です。高得点が入るたびに歓声が沸き起こり、無得点では本人のみならず周囲のメンバーもガックリ。

最後の即興ゲームでは、リーダーが手拍子を打ちながら止まった数でバラバラに散っていた人が集まるもの。手拍子がいつ止まるのか内心ドキドキしながら周囲をキョロ！キョロ！ 久しぶりの遊びに童心に返り、楽しいひとときを過ごしました。 文化体育部 高萩 郁勇



二投目はこのコースで

ふれあうことの大切さ アロマハンドトリートメントコーナー

2022年10月30日（日）、文化祭会場に「アロマハンドトリートメントコーナー」を設けました。ハンドトリートメントを通して地域の皆さんと触れ合うことで、元気をもらい、そして与えられたらうれしいなという思いで開催しました。

コーナーに来て下さった方々からは、ゆったりとした中での施術で「何だかホッとした」「ストレスが解消した」などの感想があり、まるで「黙」の3年間が無かったかのようなスッキリした表情を見せていただきました。

文化祭会場には多くの方々が来場され、このコーナーも「ふれあう」ことの一翼を担えたのではないのでしょうか。

増尾ジェンヌの会
新坂 はる枝



ほのぼのプラザますお リニューアルオープン

「ほのぼのプラザますお」が2022年11月1日（火）、高齢者の総合相談窓口の「柏南部第2 地域包括支援センター」と身近な福祉相談窓口の「増尾地域いきいきセンター」が併設されリニューアルオープンしました。

多目的広場は通いの場として地域の方々が気軽に集まり、おしゃべりやくつろいだりできる場所として、またアイデアを活かしたイベントなどに利用できます。

「みんなのcafeぼ〜の」が月・火・木・土曜日の午前10時から午後3時半までオープンしており、誰でも利用ができます。

ハロウィン秋祭り 加賀町会

加賀町会の名物行事であった8月の夏祭りが、この2年間コロナ禍で中止を余儀なくされましたが、何とかお祭りが出来ないものかと検討を重ね、2022年10月16日(日)に初めての秋祭りを開催することに決めました。

実は夏祭りを中止していた間、地域の子どもたちへの思いもあり、西口商店会、親子会と連携し、ハロウィンイベントを開催した際、多数の子どもたちが参加していましたので、それを踏まえ秋祭りに合わせてハロウィン仮装コンテストを行うことにして「ハロウィン秋祭り」を開催しました。

ハロウィン秋祭りは加賀第一公園で行われ、当日は約800名の方々が参加。半数以上は子どもたちであり、ステージでは拳正道の演武、親子会や加賀太鼓の演技が行われ、会場には老若男女の踊りの輪がひろがり、趣向を凝らした仮装でも大変盛り上がりしました。

コロナ禍の状況次第ではありますが、今回3年ぶりにお祭りを開催し、町会が一体となる「お祭り」がいかに大事かを改めて認識しましたので、来年度に向けて鋭意検討を進めるつもりです。 加賀町会 中井 英一



3年ぶりのお祭りは大勢の子どもの参加で大いに盛り上がりました。

みんなでころころゲームの集い 松野台自治会



スイングに注目

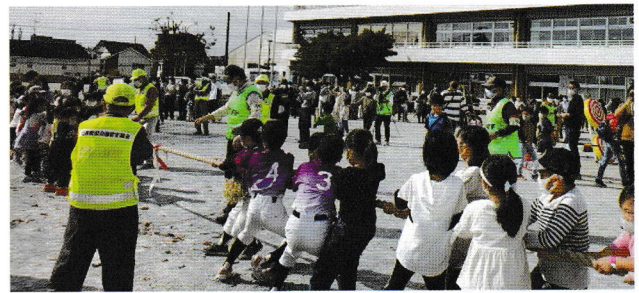
今回のイベントは「3世代で楽しめる」を目的とし、

2022年10月23日(日)増尾西小学校校庭において、松野台自治会の秋イベント「みんなでころころゲームの集い」をすばらしい秋晴れの中で開催しました。松野台自治会では実に3年ぶりの会員参加型のイベントで、笑顔と笑い声が絶えないイベントとなりました。

グラウンドゴルフの用具を利用し、松野台自治会オリジナルのゲームを考案しました。準備から後片付けまでみんなで楽しみながら過ごせた、とても幸せな日になりました。参加賞の増尾地域ふるさと協議会からお借りした芋焼き機で焼いた焼き芋が好評で、準備に協力していただいた方々にとっても感謝しています。

コロナ禍でも、みんなで協力すればこんな楽しい時間を過ごせるという体験ができ、これからの自治会運営の参考にもなり、大会開催を通じて自治会長としても成長できました。 松野台自治会 金原 直行

増尾町会大運動会開催



みんなが声援。綱を持つ手に力が入ります。

2022年11月13日(日)、土小学校校庭で「増尾町会大運動会」を開催しました。午後から天候が崩れるという予報でしたが、午前中は青空となり三々五々集まった町会員は1000名ほどになりました。

校庭では玉入れ、30m競争、綱引きが行われ、予定していた参加人数を急遽、大幅に増やさなくてはならないほどでした。他にも、スナッグゴルフ、ストラックアウト、輪投げが、体育館ではお手玉カーリング、お手玉シュートなどが行われ、行列ができるほどの参加者でした。

最後は、競技参加者に配られたくじ引き券での大盤振る舞いのくじ引き大会。大いに盛り上がりしました。

コロナ禍で多くの行事が中止になる中、子どもと大人と一緒に楽しめる行事として開催した大運動会。土小学校校庭を埋め尽くすほどの参加者を見て「集う」ことの楽しさを体感しました。 増尾町会 嶋田 由紀江

お悔やみ申し上げます

増尾地域ふるさと協議会活動に、長きにわたりご尽力をいただいております大島金蔵さんが2022年11月12日にご逝去されました。

地区社協部員を経て「多世代交流コミュニティーサロンつちのこ」「増尾地域見守り助け合い隊」など地域支援の活動に大きなお力添えをいただきました。深く感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。